

事務事業名		農業振興センター事業				会計	一般会計					
						事業種別	政策	開始	14	終了		
課等名	農業課	係等名	農業振興センター係									
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり									
	施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化									
目的	対象(誰・何を)	①市内農業者②農業者以外の市民 <負担金支出先> 飯田市農業振興センター				対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	関係団体及び地域団体と連携して、農業振興して①農産物を販売拡大してもらい、農業生産を維持・拡大してもらい、集落営農に取り組んでもらう、作業支援人材を受け					農業就業者数(国勢調査:単位人)			4616		
	向上させたい上位施策の成果指標	既存農業者の産出額(農業):億円					農業就業者以外の市民(単位:人)			100719		
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	連携して取り組んだ事業			13	13	13					
	成果指標	遊休農地再生活動面積(ha)			3.4	3.4	3.4					
	定性目標											
事業概要	<p>飯田市農業振興センター運営事業負担金</p> <p>農業振興センターは行政、農協、農業委員会等の農業関連の団体が連携して飯田市の農業・農村振興を目的とした方針の策定、連絡調整を行うとともに参画団体であるNPO法人みどりの風が取り組むモデル農園整備、地域での農業振興活動等への支援を行う。また、振興センターは担い手育成総合支援協議会として認定農業者の経営発展の支援や集落営農組織の組織化等、地域における担い手育成・確保に向けた取り組みを行うとともに、耕作放棄地対策協議会として農地バンクを活用し、農地の効率的な利用を進め耕作放棄地の増加防止に取り組む。</p>											
事業内容					名称			活動指標				
24年度事業内容	1 農地再生活用支援事業 NPO法人みどりの風との協働による果樹新技術導入支援事業、リース樹園地事業 及び市田柿登録銀行モデル事業の展開、地区・グループによる遊休農地解消事業の支援等				1 支援団体数	1 19団体						
	2 農産物販売拡大支援事業 広報、HPを活用した情報発信等				2 広報回数	2 30回						
	3 地域営農支援事業 各地区農業振興会議活動への支援等				3 支援地区数	3 16地区						
	4 担い手育成総合支援協議会 経営改善支援計画の作成支援、新規就農者への支援等				4 認定農業者数	4 212経営体						
	5 耕作放棄地対策協議会 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金の活用による耕作放棄地の解消 農地情報を農地バンクに集め利用集積を進める											
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		6,200	6,200	6,200	5,200							
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他												
一般財源		6,200	6,200	6,200	5,200							
人件費計(千円)②		8,837		8,837								
正規職員所要時間		1,900		1,900								
臨時職員所要時間		1,900		1,900								
総事業費①+②		15,037	6,200	15,037	5,200							
事業内容・目標達成状況の振り返り	24年度に新規の助成制度を創設したことで、新たなグループ活動や地域活動に繋がった。今後、「新農業チャレンジづくり支援事業」などの新制度が有効に活用されるように、積極的に周知していく必要がある。											
改革改善の考え方	①問題点	地区農業振興会議の活動状況によって、地域差が広がっている。										
	②改革提案	助成制度の周知や事務局の支援体制強化などに取り組む必要があり、事務局段階での情報交換及び情報共有を蜜に行っていく。										